

Q 地域包括ケアシステムの構築について

長谷川 清 議員



A 地域包括ケアシステム推進協議会で協議を進める

質問一 現状の地域医療と介護の実態と課題は。

二 今後のスケジュールは。

三 地域の医療と介護の完成形は。

答弁一（市長） 坂戸鶴ヶ島医師会を中心に、医療と介護の連携を

マネジメントする在宅医療相談室の設置、多職種の情報共有のためのICTシステムの導入等を進めている。また、同医師会及び坂戸

市と連携し、地域包括ケアシステム推進協議会を設置した。医療や介護の専門職、ボランティア等の人材の確保・育成が課題である。

二 平成30年度からの第7期介護保険事業計画では、看護小規模多機能型居宅介護サービスなどの新サービスの設置を検討するほか、生活支援コーディネーターを配置して生活支援体制を強化していく。



三 完成形は示せないが、地域支援合い協議会等の日常生活支援の取組に在宅医療と介護サービスが加わることで、支援を必要とする高齢者が安心して暮らせる地域を創り出せると考えている。

◎**その他の質問**

一 ミヤンマーのホストタウン計画について

二 産婦人科誘致の本気度について

三 学校トイレ洋式化工事の入札と施工業者について

Q 子育て支援について

出雲敏太郎 議員



A 気軽に相談できる体制を整えていく

質問一 相談窓口のPRは。

二 イクメン増加の働きかけは。

三 児童虐待防止のための取組は。

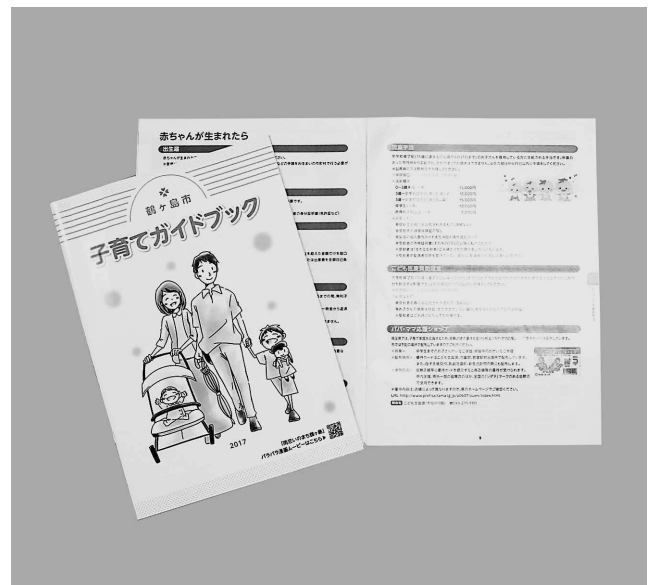
答弁一（市長） 市ホームページや子育てガイドブックを活用している。ネウボラについては、保健センターと子ども支援課で周知に努め、市民課は、出生や転入、離婚などの届出があった場合、子ども支援課に漏れなくつないでいる。

二 男性の家事・育児・介護への参加支援の取組として、成人男性等を対象とした料理の体験講座の開催など行ってきた。引き続き、男性が子育てなどの家庭責任を担えるよう、必要となる知識や技術

の習得機会を提供する。また、企業等と連携し、ワーク・ライフ・バランスの理解と実践を促進する。

三 保健センターや家庭児童相談室では、相談支援による虐待の未然防止に努めている。早期発見・早期対応としては、虐待の通告があった場合、48時間以内に子ども安全確認を実施し、家庭訪問などで加害者への抑止を行っている。保護及び再発防止としては、毎月1回、要保護児童等対策地域協議会の実務者会議を開催し、関係機関と共に対応方針を検討している。

◎**その他の質問** 北朝鮮の核攻撃等に備えた体制の構築について



鶴ヶ島市子育てガイドブック